

令和4年度

# 事業報告書

令和4年4月1日から

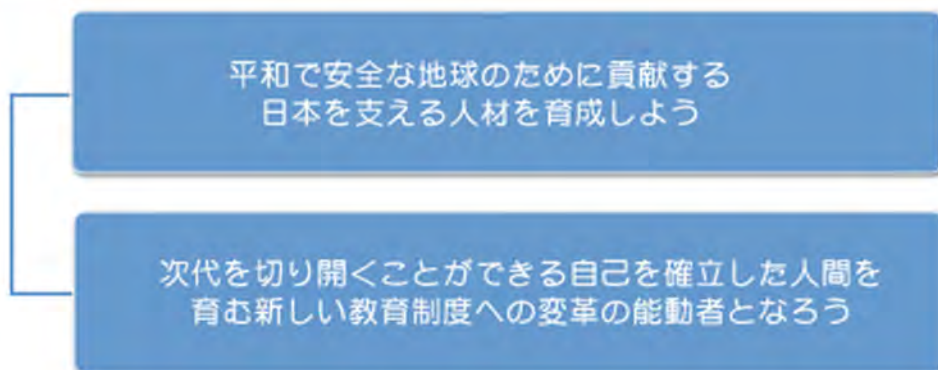
令和5年3月31日まで

学校法人 八洲学園

## 1. 法人の概要

### (1) 学園のミッション

八洲学園では2つのミッション ステートメントを掲げております。



### (2) 学校法人の沿革

- 1948年 奈良県においてヤシマ裁縫学院として奈良県知事の認可により創立。
- 1951年 私立学校法施行により、学校法人八洲学園を設立。ヤシマ文化学園並びに天理経理学校を併設する。
- 1952年 大阪市東区（現中央区）において大阪経理専修学校を設立。
- 1954年 大阪経理専修学校を玉造経理専門学校と改称。
- 1966年 玉造経理専門学校の発展に伴い通学の便をはかり、阪和線堺市鳳地区に鳳経理専門学校を設立。
- 1969年 大阪市天王寺区に玉造タイピスト学校を設立。
- 1976年 玉造経理専門学校、鳳経理専門学校、天理経理専門学校、ヤシマ文化学園が専修学校認可を受ける。
- 1977年 鳳経理専門学校高等課程が技能連携指定校（文部大臣認可）とし卒業生に高校卒業資格が与えられる。
- 1978年 鳳経理専門学校専門課程は産業能率短期大学との提携により通信制を併学し、短大卒業資格を得る。
- 1979年 鳳経理専門学校高等課程を分離し、鳳経理高等専修学校の設立認可をうける。
- 1985年 鳳経理高等専修学校の卒業生に、文部大臣より大学入学資格が与えられる。
- 1986年 玉造経理専門学校新校舎完成。鳳経理専門学校とともに校名を、ヤシマ情報経理専門学校と改称。
- 1992年 ヤシマ情報経理専門学校鳳校を廃校し、八洲学園高等学校の設立認可をうける。
- 1994年 ヤシマ情報経理専門学校に高等課程を設置
- 1995年 ヤシマ総合ビジネス専門学校（旧玉造タイピスト学校）をパソコンワープロカレッジ専門学校と改称。
- 1997年 八洲学園高等学校広域の認可を受け、東京本部（新宿区）を設置。
- 1998年 鳳商業高等専修学校を八洲学園高等専修学校と改称。
- 1998年 八洲学園高等学校梅田、渋谷、池袋会場を開設。
- 1999年 八洲学園高等学校上野、横浜、三ノ宮、京都、奈良会場開設。
- 2000年 八洲学園国際高等学校（沖縄）を設置。
- 2000年 八洲学園高等学校東京本部2号館完成。
- 2001年 パソコンワープロカレッジ専門学校内に学園本部を設置。
- 2002年 パソコンワープロカレッジ専門学校とヤシマ情報経理専門学校統合、西日本柔道整復専門学校設置。
- 2004年 八洲学園大学開学。
- 2006年 八洲学園国際高等学校を八洲学園大学国際高等学校に改称。
- 2017年 ESA音楽学院専門学校を設置。
- 2017年 福岡県那珂川町立福岡女子商業高等学校の移管を受け、福岡女子商業高等学校として設置。

(3) 設置する学校 (令和5年3月31日現在)

| 設置学校名        | 学(校)長名 | 学校所在地             | 学校設置認可年月日   | 男女校種別 |
|--------------|--------|-------------------|-------------|-------|
| 八洲学園大学       | 水戸部 優子 | 神奈川県横浜市西区桜木町7-42  | 平成15年11月27日 | 男女    |
| 八洲学園高等学校     | 林 周剛   | 大阪府堺市西区鳳中町7-225-3 | 平成04年03月31日 | 男女    |
| 八洲学園大学国際高等学校 | 中村 成希  | 沖縄県国頭郡本部町備瀬1249   | 平成12年03月31日 | 男女    |
| 八洲学園高等専修学校   | 谷口 充   | 大阪府堺市西区鳳中町4-132   | 昭和54年04月01日 | 男女    |
| ESA音楽学院専門学校  | 森上 芳郎  | 大阪府大阪市天王寺区玉造元町2-6 | 平成29年01月13日 | 男女    |
| 福岡女子商業高等学校   | 柴山 翔太  | 福岡県那珂川市片縄北1-4-1   | 平成29年03月09日 | 女     |

(4) 学部・学科・学生等の状況 (令和4年5月1日現在)

※大学は正科生のみで科目等履修生は含まない。

| 学校名          | 学部・学科等名           | 入学定員<br>(人)           | 入学者数<br>(人) | 収容定員<br>(人) | 在籍者数<br>(人) | 収容率<br>(%) |
|--------------|-------------------|-----------------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 八洲学園大学       | 生涯学習学部<br>生涯学習学科  | 入学定員 800<br>編入学定員 400 | ※<br>329    | 4000        | 2282        | 57.0       |
| 八洲学園高等学校     | 通信制課程<br>(広域)普通科  | —                     | 555         | 3000        | 1741        | 58.0       |
| 八洲学園大学国際高等学校 | 通信制課程<br>(広域)普通科) | —                     | 353         | 5000        | 1334        | 26.7       |
| 八洲学園高等専修学校   | 経理高等課程<br>商業科     | 40                    | 19          | 120         | 64          | 53.3       |
| ESA音楽学院専門学校  | 文化教養課程<br>吹奏楽学科   | 40                    | 23          | 80          | 41          | 51.3       |
|              | 吹奏楽実務学科           | 40                    | 0           | 40          | 0           | 0.0        |
| 福岡女子商業高等学校   | 全日制課程<br>商業科      | 240                   | 184         | 720         | 396         | 55.0       |

## (5) 役員概要 (令和5年3月31日現在)

定員数 理事5~7名 実数5名 ・ 監事2~3名 実数2名 4年任期

| 役員名 | 職名<br>担当職名 | 氏名     | 常勤<br>非常勤 | 就任年月日<br>(重任年月日)          | 選任区分 | 主な現職等             |
|-----|------------|--------|-----------|---------------------------|------|-------------------|
| 理事  | 理事長        | 和田 公人  | 常勤        | 平成9年5月29日<br>(令和3年6月14日)  | 2号   | 理事長<br>(学)令徳学園理事長 |
| 理事  |            | 林 周剛   | 常勤        | 平成27年4月1日                 | 1号   | 校長                |
| 理事  | 事業理事       | 小森 嘉之  | 非常勤       | 平成14年9月30日<br>(令和3年6月14日) | 2号   | 会社役員              |
| 理事  |            | 吉原 和仁  | 非常勤       | 平成15年5月29日<br>(令和3年6月14日) | 2号   | 会社役員              |
| 理事  |            | 和田 みゆき | 非常勤       | 平成21年6月14日<br>(令和3年6月14日) | 3号   | 会社役員<br>(学)令徳学園理事 |
| 監事  |            | 加藤 卓   | 非常勤       | 平成25年6月14日<br>(令和3年6月14日) |      | 税理士               |
| 監事  |            | 岡 正俊   | 非常勤       | 平成28年4月1日<br>(令和3年6月14日)  |      | 弁護士               |

## (6) 評議員概要 (令和5年3月31日現在)

定員数 11~15名 実数12名 4年任期

| 氏名     | 主な現職等            | 選任区分 | 備考  |
|--------|------------------|------|-----|
| 水戸部 優子 | 八洲学園大学学長         | 1号   |     |
| 林 周剛   | 八洲学園高等学校校長       | 1号   | 兼理事 |
| 谷口 充   | 八洲学園高等専修学校校長     | 1号   |     |
| 柴山 翔太  | 福岡女子商業高等学校校長     | 1号   |     |
| 中村 成希  | 八洲学園大学国際高等学校校長   | 2号   |     |
| 石渡 知美  | 八洲学園職員           | 3号   |     |
| 小森 嘉之  | 会社役員             | 4号   | 兼理事 |
| 吉原 和仁  | 会社役員             | 4号   | 兼理事 |
| 和田 みゆき | 会社役員 ・ (学)令徳学園理事 | 4号   | 兼理事 |
| 和田 公人  | 理事長 ・ (学)令徳学園理事長 | 5号   | 兼理事 |
| 古川 直季  | 国会議員             | 5号   |     |
| 松本 真尚  | 会社役員             | 5号   |     |

(7) 教職員の概要（令和4年5月1日現在）

|    |     | 合計  | 八洲学園大学 | 八洲学園<br>高等学校 | 八洲学園大学<br>国際高等学校 | 八洲学園高等<br>専修学校 | ESA 音楽学院<br>専門学校 | 福岡女子商業<br>高等学校 |
|----|-----|-----|--------|--------------|------------------|----------------|------------------|----------------|
| 教員 | 本務  | 124 | 19     | 50           | 15               | 5              | 4                | 31             |
|    | 非常勤 | 197 | 48     | 109          | 9                | 6              | 19               | 6              |
| 職員 | 本務  | 23  | 5      | 13           | 2                | 0              | 2                | 1              |
|    | 兼務  | 29  | 5      | 10           | 9                | 2              | 1                | 2              |

## 2. 事業の概要

### (1) 事業の概要

当学校法人を取り巻く環境は、少子化の進行や経済状況の変化等により、厳しい状況にある。  
このような中、各学校は以下の取り組みを行っている。

#### 【八洲学園大学】

- ・教員ブログの活性化や、「在学生・卒業生の声」ページへの新しいインタビュー記事の掲載といった、教員や在学生・卒業生の「顔」が見える取り組みにより、入学促進や履修促進を図った。
- ・令和3年度に導入したチャットボットや DSP 広告を継続し、学生定員の確保を進めた。入学者数は急増した昨年度からは減少したものの、一昨年度よりは増加し、定員充足率は順調に向上している。
- ・履修規程を改定して「人間力創造系」の分類に「芸術・美術・造形」追加したほか、新規5科目を開講するなど、カリキュラムの充実を進めた。令和5年度は、初年次教育やアカデミックスキル教育の充実を予定している。
- ・システム移行の影響で平成31年度以降中断していた「科目評価アンケート」を令和4年度春期に再開し、アンケート結果を各教員による授業改善につなげた。
- ・令和3年度に策定した「障害学生支援に関するガイドライン」のもと、令和5年1月に「障害学生支援規程」を施行した。それに基づき令和5年度入学者から「修学上の配慮に関する申請書」の運用を開始し、合理的配慮に関するサポート体制を強化した。
- ・SD・FD 共同のオンラインサロンを開催し、教職員間の交流を深めた。
- ・開学時より据え置いていた学費について、令和6年度からの値上げを決定した。
- ・「委員会規程」及び「自己点検・評価に関する規程」を改訂し、自己点検・評価や内部質保証のための体制整備を進めた。
- ・「令和5年度自己点検評価書」の作成を進めた。
- ・「八洲学園大学 第二期中長期計画」（平成25～令和4年度）を振り返り、最終報告書をまとめた。
- ・「八洲学園大学 第三期中長期計画」（令和5～14年度）を策定した。

- ・「八洲学園大学 ハラスメント相談対応規程」を策定した。また、「八洲学園大学 ハラスメント防止ガイドライン」におけるハラスメントの定義にカスタマーハラスメントを加えた。
- ・衛生委員会にて「八洲学園大学 健康経営宣言」を策定し、「横浜健康経営認証クラスA」を取得した。

#### 【八洲学園高等学校】

- ・通信制高等学校として、通学型のサポートクラス、通信型の通信クラス、技能連携校、科目履修生、中等部の生徒への教育活動
- ・教育講演会、体験活動など、教育関係者との情報交換や地域の方との交流の場を設け、社会貢献活動

#### 【八洲学園大学国際高等学校】

- ・「高等学校教育を受けられなかった青少年に就学の機会を与えること」を主たる目的とし、5月1日現在で徳島県・鳥取県を除く45都道府県より幅広く生徒を受け入れた。
- ・学則を改正し、令和4年度より移行が始まった次期学習指導要領への対応を図った。
- ・文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等に準拠して新型コロナウイルス感染症感染予防対策を徹底して安全安心な学校環境を構築し、教育活動を行った。
- ・八洲学園大学との高大連携、およびESA音楽学院専門学校との高・専連携事業を実施し、内部進学に結び付けた。

#### 【八洲学園高等専修学校】

- ・発達障害を中心とするライフキャリア教育を更にすすめるとともに、コロナ禍以降での様々な課題に直面している生徒への個別の具体的な実践を重ね、生涯学習として、特に青年期は生涯学習への移行について文科省の政策をふまえて実践を重ねていく。
- ・文科省の生涯学習や権利条約を更に具体的に他の機関と連携し、その先の高等教育、学校教育以降の先の見通しを立てていく。

#### 【ESA音楽学院専門学校】

- ・吹奏楽を職業にと考える人達の専門学校として、生徒のリペア技術の習得向上、演奏技術の習得向上を目指した。

#### 【福岡女子商業高等学校】

- ・本校の教育目標として、「真の商業教育」の想像に向けて動き出す。生徒の可能性を本気で信じ、生徒の心に火を付けると同時に、失敗歓迎、生徒の未来へアプローチし続けるという事を掲げた。
- ・本年度の重点目標として、以下の4つである。
  - ①教職員の一人ひとりが学習者たれ！最新学習歴の更新、
  - ②継続的に選ばれる女子商に発展するためのステークホルダーからの信頼獲得、
  - ③「真の商業教育」の創造、
  - ④その他これまでの継続的目標を維持して運営に取り組んだ。

特に、起業家教育においては、全コース対象で「起業家のように思考し、起業家のように行動する」推進ことはもちろん、実社会の商業活動との連携としてスピズ（アパレル）やアツギとのコラボ商品の開発・販売、女子商マルシェのアップデートの一環としてクラウドファンディングによる資金調達により「音楽フェス」の開催に取り組んだ。

また、主体性の伸張のため、修学旅行を生徒自ら企画・提案しプレゼンし決定ことにも取り組んだ。

更に、特進コースについては、70名へと人員増加しているため、3年後の進学先の開拓にも取り組んでいる。

(2) 主な事業の目的・計画及び進捗状況

当該年度に実施した事業は以下の通りである。

【八洲学園大学】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

①生涯を通して主体的に学びを発信し続ける意欲をもった人材の育成

| 事項                          | 概要   | 進捗状況  |
|-----------------------------|--|---|
| カリキュラム・ポリシーに基づいた体系的な教育課程の編成 | カリキュラム・ポリシーを整備し体系的な教育課程を編成する。                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度より「履修規程」別表第1の、「人間力創造系」に「芸術・美術・造形」を追加。</li> <li>・令和4年度春期に5科目を新規開講。</li> <li>・令和5年度以降のアカデミックスキル関連科目について教務委員1名が主担当として取り組んでいくことを決定。</li> <li>・「初年次教育、アカデミック・ライティング科目」「文学系」の専任教員公募を行う方針を決定。</li> </ul>      |
| ディプロマ・ポリシーに基づいた評価指標の明確化     | ディプロマ・ポリシーを整備し評価指標を明確化する。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度からシラバスに「到達目標」を追加（卒論関係を除き100%達成）。</li> </ul>  |
| 多様な学習支援                     | eラーニング・システムを活かした支援や学生支援センターによるきめ細やかな支援を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度に続き「授業目的公衆送信補償金制度」加入。</li> <li>・教務委員会にて「初年次セミナー」の改善等に活かすための支援センタースタッフアンケートを実施。</li> <li>・令和6年度からの改正障害者差別解消法の施行に向け、令和5年1月1日付で「障害学生支援規程」を施行し、「修学上の配慮に関する申請書」の運用を開始。また、「SOBA マナベル」に字幕表示機能を実装中。</li> </ul> |

②学生が意欲をもつ学びの場の構築

| 事項                      | 概要                           | 進捗状況   |
|-------------------------|------------------------------|--|
| アドミッション・ポリシーに基づいた学生の受入れ | アドミッション・ポリシーを整備し適切に学生を受け入れる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年7～8月にかけて正科生（学士取得編入学）向けのDSP 広告を強化。</li> <li>・通信制高校など380校へ資料送付。</li> <li>・主にシニア層をターゲットに新聞広告を実施（長野県）。</li> </ul>  |
| 学生の視点を育成に反映させる取り組み      | 学生の要望を科目の新設や教授法の開発に反映させる。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度末に修了生を対象に実施した学修ニーズ調査結果を踏まえて司書演習科目におけるZoom 利用を検討中。</li> <li>・平成31年度以降中断していた「科目評価アンケート」を令和4年度春期に再開。</li> <li>・学生支援センターによる学生アンケートを実施し、意見・要望に順次対応。</li> </ul> |
| 学生の成長を促す取り組み            | 科目の充実等により学生の成長を促す。           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度から「初年次セミナー」の開講期の増設とオンデマンド視聴期間の延長を決定。</li> </ul>   |

③時代の要請に応えたeラーニングスタイルの提供

| 事項                        | 概要                                  | 進捗状況  |
|---------------------------|-------------------------------------|---|
| eラーニング・システムの機能を生かした教授法の開発 | 学生や教職員の意見を反映しeラーニング・システムの仕様改善を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度も自宅からの配信を継続。</li> <li>・「SOBA マナベル」に字幕表示機能を実装中。</li> <li>・学生アンケートによるシステムへの要望・意見をシステム会社に共有。</li> </ul>   |
| FDの実施                     | FDを実施しeラーニングスタイルの教育の能力を高める。         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度FD授業参観及び令和2・3年度FD研修について最終報告完了。</li> <li>・令和4年9月22日にFD・SDオンラインサロン開催（専任教員11名、非常勤講師5名、専任職員4名参加）。</li> <li>・令和4年12月19日にFD・SDオンラインサロン開催（専任のみ対象、専任教員13名、専任職員4名参加）。</li> <li>・令和5年3月22日にFD・SDオンラインサロン開催（専任教員13名、非常勤講師3名、専任職員5名、パート職員5名参加）。</li> </ul> |
| SDの実施                     | SDを実施しeラーニングスタイルの教育や学生支援の能力を高める。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度末SD研修会について最終報告完了。</li> <li>・令和4年6月1日にIR、FD、SD担当者顔合わせを実施。</li> <li>・専任職員個々のSD研修として外部セミナー等に各自1回以上参加し、研修報告書を共有。</li> <li>・「パワーハラスメントオンライン研修講座」の再受講を呼びかけ。</li> </ul>   |

④生涯学習社会の実現に向けての研究開発の推進

| 事項            | 概要                                     | 進捗状況   |
|---------------|--|--|
| カリキュラムの確認と再構築 | 生涯学習学社会の実現のために求められることを分析しカリキュラムを再構築する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度より「履修規程」別表第1の、「人間力創造系」に「芸術・美術・造形」を追加。</li> <li>・令和4年度春期に5科目を新規開講。</li> <li>・令和5年度以降のアカデミックスキル関連科目について教務委員1名が主担当として取り組んでいくことを決定。</li> <li>・「初年次教育、アカデミック・ライティング科目」「文学系」の専任教員公募を行う方針を決定。</li> </ul> |
| 研究紀要の発行       | 八洲学園大学紀要を発行し公表する。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会にて研究活動についての教員アンケートを実施。</li> <li>・『八洲論叢（第二号）』を刊行。</li> <li>・『八洲学園大学紀要（第19号）』を刊行予定。</li> </ul>  |



⑤グローバル化に対応した学習の提供

| 事項                         | 概要                      | 進捗状況   |
|----------------------------|-------------------------|--|
| 多様なインターネット環境に対応した学習システムの構築 | 現行システムの弱点を補う新システムを開発する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年7月31日の科目修得試験時のアクセス集中エラーを踏まえてサーバーを増強。また、教務委員会にて試験時のシステム障害に関する対策を検討。</li> <li>・システム会社と大学事務局のオンライン定例会議を原則2週間ごとに開催し、連携を強化。</li> <li>・「SOBA マナベル」に字幕表示機能を実装中。</li> </ul>  |
| 公開講座の新設                    | グローバル化に対応した公開講座を新設する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年7月に「ゲートキーパー養成講座」を新規開講。好評につき11月に2回目を開講。</li> <li>・引き続き「防災士養成講座」開講。</li> <li>・引き続き「横浜HC塾」開講。</li> <li>・外部講師による「幼児教育の始祖「F. フレーベル」探究」を新規開講。</li> <li>・専任教員による「小林一茶の近代へのまなざし」を新規開講。</li> <li>・非常勤講師による「レッツ・Web サイト制作!」「レッツ・プログラミング!～様々なプログラミング言語に触れてみよう」を新規開講。</li> </ul> |
| 科目群の整備                     | グローバル化に対応した科目群を整備する。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は特に新しい取り組みなし。</li> </ul>  |

⑥キャリア形成や就職・転職支援の実施

| 事項         | 概要                     | 進捗状況  |
|------------|------------------------|---|
| 就職・転職支援の充実 | キャリアコーディネーター室による支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒採用スケジュールに対応した就活セミナーに刷新。</li> </ul>  |
| 科目群の整備     | キャリア教育科目を整備する。         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ関連科目の開講を検討中。</li> <li>・全国大学実務教育協会の認定資格を取得できるカリキュラムの開設を検討中。</li> </ul>   |
| 公開講座の新設    | キャリア形成に役立つ公開講座を新設する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年7月に「ゲートキーパー養成講座」を新規開講。好評につき11月に2回目を開講。</li> <li>・引き続き「防災士養成講座」開講。</li> <li>・非常勤講師による「レッツ・Web サイト制作!」「レッツ・プログラミング!～様々なプログラミング言語に触れてみよう」を新規開講。</li> </ul> |

⑦ 広く社会や地域に貢献

| 事項           | 概要                          | 進捗状況  |
|--------------|-----------------------------|---|
| 神奈川県や横浜市との連携 | 神奈川県や横浜市主催イベント等に参加し地域に貢献する。 | ・令和4年7月10日に横浜市西区に参議院議員選挙投票所として附属図書館を貸出。<br>・「ゲートキーパー養成講座」で横浜市こころの健康相談センターと連携。 |
| 各地域での社会貢献    | 公開講座をeラーニングで提供し社会に貢献する。     | ・一部講座を除き公開講座をeラーニングで開講。   |
| 大学施設・整備の開放   | 大学施設・整備を一般に開放し地域に貢献する。      | ・令和4年度より小教室の貸出数を増加。<br>・令和4年度も神奈川県「感染防止対策取組」に登録。                              |

・施設・設備の整備計画

|  |
|--|
| <p>令和4年度は、計画通りUSG設置工事と自家発電機負荷試験（年1回実施義務）のほか、8月の貯水槽清掃で指摘を受けた受水槽電極交換工事、及び10月のエレベーター保守点検で指摘を受けた箇所の改修工事を行った。また、老朽化が進むトイレを順次改修するため、配信教室がある6階と事務局がある2階の改修工事を実施した。さらに、2階事務局内の冷暖房がほぼ効かない状況が以前より続いていたため調査を依頼したところ、空調機の本構造に問題があることが判明し、抜本的な工事は高額なため見送りダクトの盛替え工事を行った。</p> <p>また、令和4年末より学内ネットワークの不具合が多発したため、5階サーバールームのルーターを交換した新しいルーターはNURU回線と合わせてサポートを受けられるレンタルルーターとし、学内ネットワークの安定化を図った。</p> <p>令和5年度は、年1回実施義務がある自家発電機負荷試験を管理会社の委託契約に組み込み、単年度での依頼よりも費用を抑えつつ、確実に実施する。また、保守期間が切れる複合機入替に備えた電源工事と、消防設備点検で指摘を受けた自家発電機蓄電池交換工事を予定している。さらに余裕があれば、管理会社より優先事項として提案されている1階エントランスホールのLED化工事や、全館の剥離清掃を検討したい。また、将来に向け、学内ネット配線や電話回線の刷新、及び屋上看板のフェンス塗装工事も引き続き課題である。</p> |
|--|

【八洲学園高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

| 事項                               | 概要   | 進捗状況            |
|----------------------------------|--|-----------------|
| サポートクラス運営の定着化<br>ホームサポートクラスの入学者増 | 3学年がすべて揃ったサポートクラスの生徒入学者数を安定的に受け入れ、運営内容の充実を図り、運営を定着化させる。<br>また、不登校生や支援を要する生徒さんに対する、学習サポートをさらに拡充し、ホームサポートクラスの入学者数を増やす。 | 令和4年度の実績は会計書類参照 |
| 八洲学園中等部（フリースクール）                 | 中等部の登録者数を増やす。<br>不登校の中学生に対し新たな学び場を提供し、所属中学校への学習復帰の一助となる。   | 令和4年度の在籍者数 226名 |
| 支援を要する生徒さんへの就労支援の充実              | 支援を要する生徒さんへの就労支援の充実の為、校内模擬会社を設立し、生徒さんに入社から就労までの模擬体験を経験してもらう。   |                 |

・施設・設備の整備計画

| 事 項                               | 事業規模等          | 事業費       | 財 源       | 実施時期                       |
|-----------------------------------|----------------|-----------|-----------|----------------------------|
| 堺本校 2 F 教室改修工事<br>横浜トイレ<br>廊下修繕工事 | 堺本校<br>横浜分校校舎内 | R4 決算書に記載 | R4 決算書に記載 | 令和 4 年 11 月～<br>令和 5 年 3 月 |

【八洲学園大学国際高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

| 事項                                   | 概要  | 進捗状況   |
|--------------------------------------|---|--|
| ・新学習指導要領および改正高等学校通信教育規程への対応          | ・令和 4 年度から 6 年度にかけて、教育課程を新学習指導要領に移行する。また、高等学校通信教育規程の令和 4 年度改正および令和 5 年度改正に対応する。   | ・学則の改正、新学習指導要領の 1 年次科目の移行、集中スクーリング時間割編成の刷新を実施した。<br>・令和 5 年度より移行する 2 年次科目の教材を刷新した。       |
| ・八洲学園大学との高大連携<br>・ESA 音楽学院専門学校との高専連携 | ・八洲学園グループ校であることの強みを生かして、八洲学園大学との高大連携、ESA 音楽学院専門学校との高専連携により、当校の特色の差別化を図りつつ、グループ校の事業収入増および内部進学者増に資する。   | ・八洲学園大学の公開する高大連携講座受講および ESA 音楽学院専門学校の定期演奏会観覧を高校特別活動の一部に認定した。<br>・八洲学園大学への内部進学者を 1 名輩出した。 |
| ・教育情報システムの更新                         | ・学校情報システムを新学習指導要領および通信制課程にかかる学校教育法例規改正に対応させるとともに、校納金出納系の事務を統合し、一元化を図る。  | ・教務系および生徒の学習支援にかかる新学習指導要領への移行を完了した。  |
| ・「トップアスリート育成コース」                     | ・3 分野（格闘技・陸上・野球）で展開。<br>①格闘技部門・・・小比類巻貴之氏（元 K-1 王者）総監督。「ボクシング」「キックボクシング」「総合格闘技」「空手」の 4 分野。<br>②陸上部門・・・譜久里武氏（世界マスターズ陸上金メダリスト）のアスリート工房を中心に展開。<br>③野球部門・・・令和 5 年度、石毛宏典氏（元プロ野球選手）を監督とし、硬式野球部を発足。令和 7 年度の高野連加盟を目指す。 |  |

・施設・設備の整備計画

| 事 項      | 概要   | 進捗状況     |
|----------|--|----------|
| 照明機器改修工事 | 2021 年 1 月以降、水銀灯や蛍光灯が製造されないことから、在庫の確保も困難なため LED 照明へ改修する。 | 校舎全棟工事完了 |
| 空調機器の更新  | クジラ教室 2 台、ジュゴン教室 2 台、計 4 台の取替工事を行う。                      | 取替工事完了   |

【八洲学園高等専修学校】

・主な事業の目的・計画及びその進捗状況

| 事項           | 概要                                     | 進捗状況                   |
|--------------|--|------------------------|
| 学校関係者評価      | 生徒職員以外の大学・就職先の人による評価                   | 11月実施                  |
| 第17回 全国専攻科大会 | 大阪大会・オンライン集会                           | 学生・保護者・教職員の参加オンラインにて参加 |
| 他関係学会での参加・発表 | 特殊教育学会・特別ニーズ教育学会での参加発表                 | 今年度は参加発表行いませんでした       |
| 進路研究会の結成     | 社会福祉法人やNPO等の進路先や中学校との連携を強化し外部への発信力を高める | 中学校進路担当者説明会の実施         |

・施設・設備の整備計画

| 事項    | 事業規模等 | 財源  | 実施時期 | 備考        |
|-------|-------|-----|------|-----------|
| 令和4年度 | 耐震工事  | 修繕費 | 自主財源 | 令和5年1月実施済 |

・教職員採用

| 年度    | 事項        |
|-------|-----------|
| 令和4年度 | 非常勤講師1名補充 |

・今後の課題

|  |
|--|
| 耐震診断の結果、鉄筋コンクリートについて、全く劣化はなく部分的な補強対応可能の見込みである。校舎、施設設備の老朽化に伴い、耐震工事が発せることが見込まれる。 |
|--|

・財務の概要

|                               |
|-------------------------------|
| 経費を抑え可能な限り経営努力をして経営基盤の強化に努める。 |
|-------------------------------|

【ESA 音楽学院専門学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

| 事項             | 概要   | 進捗状況                  |
|----------------|--|-----------------------|
| 楽器店及びリペア工房への就職 | 楽器構造及び音楽の歴史等の知識を深め・リペア技術の習得を行う             | 楽器店・リペア工房・楽器部品製造会社へ就職 |
| 演奏家の育成         | 演奏表現及び音楽の歴史等の知識を深め・演奏技術の習得を行う              | 本学科目履修生登録             |
| 音楽隊への就職        | 演奏表現及び音楽の歴史等の知識を深め・演奏技術の習得、公務員試験対策を行う      | 警察音楽隊・消防音楽隊へ入隊        |
| 音楽留学を目指す       | 演奏表現及び音楽の歴史等の知識を深め・演奏技術の習得、留学先で使用する言語習得を行う | コロナ禍により希望者なし(芸術大学へ編入) |
| 一般就職           | 吹奏楽を学びながら一般職を目指す                           | 一般職就職<br>自衛隊に入隊       |

・施設・設備の整備計画

| 事 項              | 実施時期                | 備 考  |
|------------------|---------------------|--|
| 4階教室エアコン修理       | 令和4年6月15日           | (事業計画外)<br>故障しましたので修理いたしました。   |
| 校舎入口エントランス タイル補修 | 令和4年7月19日           | (事業計画外)<br>以前よりタイルが破損していましたが、破損箇所が拡大し危険になりましたので補修いたしました。                 |
| 3階男子トイレ 個室増設     | 令和4年3月22日<br>～3月30日 | (事業計画外)<br>以前より男子トイレの個室の少なさが指摘されておりましたが、男子生徒の数が増えてまいりましたので個室の増設工事を行いました。 |

【福岡女子商業高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

| 事項            | 概要   | 進捗状況  |
|---------------|--|---|
| ICT 環境<br>の拡充 | 全校生徒のクロムブックを入れ替え、ICT環境をより充実させる。                                | 配布完了。   |
| 広報活動<br>の充実   | 広報活動では、中学校・塾対象の学校説明会・オープンスクール・部活動体験の工夫、対象中学校の地域拡大、出前授業の機会の増進など | ①オープンスクール：3回終了<br>②部活動体験：1回終了<br>③出前授業：概ね20回<br>④中学校教員学校説明会：1回<br>⑤塾対象学校説明会：2回<br>⑥中学校内学校説明会：3回 |
| 学外連携<br>の強化   | 社会で活躍している大人たちと接する機会をつくり、長期的な視点でのキャリア教育をおこなう。                   | ①アツギプログラム：商品完成<br>②スピズ：商品完成<br>③Anotherworks：現在進行中  |
| 進学指導体制<br>の確立 | 今年1年生より特進コースを70名に増加していることもあり、3年後の進学先の獲得に向けて準備する。               | 作成中である。<br>①受験スタイルの確立<br>②受験手続きの仕組みと人員配置<br>③指定校獲得の取り組み   |
| 国際教育<br>の推進   | 語学としての英語学習のみならず、異文化理解・ディスポート精神を身につけるための機会を積極的に作り出す。            | 次のプログラムを計画中である。   |
| 施設・設備<br>の整備  | 1F廊下のフローシートの張替え、トイレの洋式への改修を検討中。<br>また、食堂の改修工事を予定している。          | トイレについては次年度に変更予定である。  |

・施設・設備の整備報告

| 事 項                                 | 事業規模等  | 事業費        | 財 源  | 実施時期 |
|-------------------------------------|--|------------|--|------|
| ホール棟南壁看板設置<br>工事                    | 正門に向けて「挑戦を楽し<br>め」という看板を設置                         | 495,000    |  | 4月   |
| 第1棟位階廊下床利貼<br>替工事                   | 雰囲気明るくするため、床<br>のリノリウムを貼替更新                        | 1,980,000  |  | 6月   |
| 事務室火災受診機取替<br>工事                    | 落雷被害で故障した火災受<br>信機を取替更新                            | 1,980,000  | 火災保険料  | 12月  |
| 校舎電気配管落下防止<br>対策工事                  | 台風被害で、配管落下の危険<br>が発生したため、防止策工事<br>を実施              | 506,000    | 火災保険料  | 10月  |
| 校内食堂改修工事                            | 老朽化した校内食堂を改修                                       | 11,990,000 |  | 8月   |
| 校内食堂エアコン更新                          | 老朽化した食堂エアコンを<br>取替更新                               | 1,500,000  |  | 8月   |
| スタディールームホワイ<br>トボード・プロジェク<br>ター設置工事 | スタディールームの視聴覚機<br>能向上のため設置                          | 737,000    | プロジェクターのみ国の<br>研究設備補助金対象                               | 9月   |
| 生徒 PC 端末クローム<br>ブック更新               | 生徒貸出用クロームブック<br>396台を更新、経費のうち、<br>15131000円は補助金を充当 | 19,551,400 | 国の研究設備整備費補助<br>金と福岡県の一人一台端<br>末整備費補助金合計<br>15,131,000円 | 9月   |
| 大型バス購入                              | スクールバス用として中古<br>の大型バスを購入                           | 5,119,880  |  | 5月   |

### (3) 施設等の状況

現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次の通りである。

#### ア) 土地

| 所在地              | 部門             | 専用面積                    | 取得価額       |
|------------------|----------------|-------------------------|------------|
| 神奈川県横浜市西区桜木町     | 八洲学園大学         | 838.40 m <sup>2</sup>   | 658,288 千円 |
| 東京都新宿区新宿         | 八洲学園大学         | 162.00 m <sup>2</sup>   | 300,552 千円 |
| 大阪府堺市西区鳳中町       | 八洲学園高等学校       | 992.00 m <sup>2</sup>   | 105,000 千円 |
| 大阪府堺市西区鳳中町       | 八洲学園高等学校       | 327.00 m <sup>2</sup>   | 72,000 千円  |
| 大阪府堺市西区鳳中町       | 八洲学園高等学校       | 330.00 m <sup>2</sup>   | 72,000 千円  |
| 大阪府堺市西区鳳中町       | 八洲学園高等学校       | 984.00 m <sup>2</sup>   | 96,753 千円  |
| 大阪府大阪市中央区玉造      | 八洲学園高等学校       | 290.00 m <sup>2</sup>   | 59,587 千円  |
| 沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原  | 八洲学園大学国際高等学校   | 21950.00 m <sup>2</sup> | 172,505 千円 |
| 沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原  | 八洲学園大学国際高等学校   | 1408.00 m <sup>2</sup>  | 8,540 千円   |
| 沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原  | 八洲学園大学国際高等学校   | 724.00 m <sup>2</sup>   | 4,380 千円   |
| 沖縄県国頭郡本部町字石川知場塚原 | 八洲学園大学国際高等学校   | 7275.00 m <sup>2</sup>  | 28,366 千円  |
| 大阪府堺市西区鳳中町四丁     | 八洲学園高等専修学校     | 276.00 m <sup>2</sup>   | 58,500 千円  |
| 大阪府堺市西区鳳中町四丁     | 八洲学園高等専修学校     | 836.00 m <sup>2</sup>   | 50,400 千円  |
| 大阪府大阪市天王寺区玉造元町   | E S A 音楽学院専門学校 | 261.93 m <sup>2</sup>   | 47,337 千円  |
| 東京都新宿区新宿         | 法人本部           | 134.00 m <sup>2</sup>   | 300,000 千円 |

#### イ) 建物

| 所在地            | 部門             | 専用面積                    | 帳簿価額       |
|----------------|----------------|-------------------------|------------|
| 神奈川県横浜市西区桜木町   | 八洲学園大学         | 4662.19 m <sup>2</sup>  | 244,034 千円 |
| 東京都新宿区新宿       | 八洲学園大学         | 1112.15 m <sup>2</sup>  | 29,870 千円  |
| 大阪府堺市西区鳳中町     | 八洲学園高等学校       | 683.93 m <sup>2</sup>   | 26,534 千円  |
| 大阪府堺市西区鳳中町     | 八洲学園高等学校       | 304.98 m <sup>2</sup>   | 4,709 千円   |
| 大阪府堺市西区鳳中町     | 八洲学園高等学校       | 1156.97 m <sup>2</sup>  | 60,930 千円  |
| 大阪府大阪市中央区玉造    | 八洲学園高等学校       | 1145.17 m <sup>2</sup>  | 102,539 千円 |
| 沖縄県国頭郡本部町字備瀬   | 八洲学園大学国際高等学校   | 2993.62 m <sup>2</sup>  | 269,827 千円 |
| 大阪府堺市西区鳳中町     | 八洲学園高等専修学校     | 1010.94 m <sup>2</sup>  | 3,338 千円   |
| 大阪府大阪市天王寺区玉造元町 | E S A 音楽学院専門学校 | 907.59 m <sup>2</sup>   | 7,042 千円   |
| 福岡県那珂川市片縄北     | 福岡女子商業高等学校     | 10741.80 m <sup>2</sup> | 252,980 千円 |
| 東京都新宿区新宿       | 法人本部           | 90.90 m <sup>2</sup>    | 6,308 千円   |

### (4) その他

特に記載すべき事項はありません。

### 3. 財務の概要

#### (1) 決算の概要

##### ①貸借対照表の状況

貸借対照表は、学園の財政状態の健全性、必要資産の保有状況について表示したものです。

資産の合計は9,108,982千円で、前年度に比べ354,046千円の増加となり、負債の合計は247,036千円で、前年度に比べ3,222千円の減少となりました。

結果、純資産の合計は8,861,946千円となり、前年度に比べ357,268千円の増加となりました。

##### ②収支計算書の状況

###### ア) 資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度の学園の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにし、その年度における支払資金のてん末を明らかにしたものです。

当年度の収入は3,323,645千円で、前年度の繰越支払資金4,544,429千円を加算すると、

収入の合計は7,868,074千円となりました。

当年度の支出は2,893,119千円となり、翌年度の繰越支払資金は4,974,955千円となりました。

結果、翌年度の繰越支払資金は、前年度に比べ430,526千円の増加となりました。

###### イ) 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書に記載される資金収入及び資金支出の決算の額を、

「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」の三つの活動に区分し資金の流れを表示したものです。

教育活動による資金収支差額は389,593千円となり、施設整備等活動による資金収支差額は△16,295千円、

その他の活動による資金収支差額は57,228千円となりました。

結果、支払資金の増加額は430,526千円となりました。

###### ウ) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、会計年度の事業活動収入及び事業活動支出を明らかにするとともに、

基本金組入額を控除した会計年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の

均衡の状態を明らかにしたものです。

基本金組入前の当年度収支差額は357,268千円となり、基本金組入額△39,562千円を計上後の当年度収支

差額は317,706千円となりました。また、当年度収支差額317,706千円に前年度の繰越収支差額2,935,426

千円を加算した結果、翌年度繰越収支差額は3,253,135千円となりました。

#### (2) 経年比較

##### ①貸借対照表

(単位 千円)

| 科目          | 平成30年度末   | 令和元年度末    | 令和2年度末    | 令和3年度末    | 令和4年度末    |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 固定資産        | 4,324,504 | 4,282,378 | 4,164,150 | 4,087,961 | 4,013,530 |
| 流動資産        | 3,504,041 | 3,808,342 | 4,174,066 | 4,666,975 | 5,095,452 |
| 資産の部合計      | 7,828,545 | 8,090,720 | 8,338,216 | 8,754,936 | 9,108,982 |
| 固定負債        | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 流動負債        | 217,443   | 214,159   | 213,348   | 250,258   | 247,036   |
| 負債の部合計      | 217,443   | 214,159   | 213,348   | 250,258   | 247,036   |
| 基本金         | 5,472,152 | 5,509,012 | 5,539,706 | 5,569,248 | 5,608,811 |
| 繰越収支差額      | 2,138,950 | 2,367,549 | 2,585,162 | 2,935,430 | 3,253,135 |
| 純資産の部合計     | 7,611,102 | 7,876,561 | 8,124,868 | 8,504,678 | 8,861,946 |
| 負債及び純資産の部合計 | 7,828,545 | 8,090,720 | 8,338,216 | 8,754,936 | 9,108,982 |



②収支計算書

ア) 資金収支計算書

(単位 千円)

| 収入の部        | 平成30年度    | 令和元年度     | 令和2年度     | 令和3年度     | 令和4年度     |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 学生生徒等納付金収入  | 1,240,169 | 1,252,609 | 1,364,199 | 1,492,213 | 1,575,359 |
| 手数料収入       | 28,303    | 29,251    | 27,574    | 28,027    | 29,687    |
| 寄付金収入       | 481       | 228       | 799       | 379       | 11,846    |
| 補助金収入       | 342,202   | 280,739   | 243,559   | 280,660   | 295,559   |
| 資産売却収入      | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 付随事業・収益事業収入 | 48,924    | 42,381    | 49,469    | 50,396    | 35,079    |
| 受取利息・配当金収入  | 2,853     | 2,765     | 2,187     | 1,985     | 1,748     |
| 雑収入         | 29,868    | 19,436    | 21,636    | 27,272    | 25,785    |
| 借入金等収入      | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 前受金収入       | 95,237    | 112,438   | 108,213   | 128,307   | 119,004   |
| その他の収入      | 1,328,394 | 1,304,747 | 1,426,204 | 1,396,551 | 1,445,540 |
| 資金収入調整勘定    | △219,366  | △197,544  | △177,093  | △199,963  | △215,962  |
| 前年度繰越支払資金   | 3,179,351 | 3,339,012 | 3,672,621 | 4,076,975 | 4,544,429 |
| 収入の部合計      | 6,076,416 | 6,186,062 | 6,739,368 | 7,282,802 | 7,868,074 |
| 支出の部        | 平成30年度    | 令和元年度     | 令和2年度     | 令和3年度     | 令和4年度     |
| 人件費支出       | 787,343   | 784,211   | 837,124   | 884,361   | 941,539   |
| 教育研究経費支出    | 372,177   | 315,816   | 333,639   | 354,158   | 391,823   |
| 管理経費支出      | 181,358   | 178,893   | 169,617   | 176,966   | 193,968   |
| 借入金等利息支出    | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 借入金等返済支出    | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 施設関係支出      | 175,041   | 64,878    | 28,183    | 18,805    | 10,036    |
| 設備関係支出      | 7,698     | 250       | 3,380     | 15,581    | 28,492    |
| 資産運用支出      | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| その他の支出      | 1,237,132 | 1,178,078 | 1,298,978 | 1,300,348 | 1,341,432 |
| 資金支出調整勘定    | △23,345   | △8,685    | △8,528    | △11,846   | △14,171   |
| 翌年度繰越支払資金   | 3,339,012 | 3,672,621 | 4,076,975 | 4,544,429 | 4,974,955 |
| 支出の部合計      | 6,076,416 | 6,186,062 | 6,739,368 | 7,282,802 | 7,868,074 |

② 収支計算書

イ) 活動区分資金収支計算書

(単位 千円)

| 科 目                               | 平成30年度    | 令和元年度     | 令和2年度     | 令和3年度     | 令和4年度     |
|-----------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 教育活動による資金収支                       |           |           |           |           |           |
| 教育活動資金収入計                         | 1,639,549 | 1,601,677 | 1,683,568 | 1,846,009 | 1,924,423 |
| 教育活動資金支出計                         | 1,340,878 | 1,278,920 | 1,340,379 | 1,415,484 | 1,527,330 |
| 差引                                | 298,671   | 322,757   | 343,189   | 430,525   | 397,093   |
| 調整勘定等                             | △ 21,902  | △ 7,605   | 33,458    | 1,803     | △ 7,500   |
| 教育活動資金収支差額                        | 276,769   | 315,152   | 376,647   | 432,328   | 389,593   |
| 施設整備等活動による資金収支                    |           |           |           |           |           |
| 施設整備等活動資金収入計                      | 23,263    | 0         | 661       | 7,723     | 20,131    |
| 施設整備等活動資金支出計                      | 182,739   | 65,128    | 31,563    | 34,386    | 38,528    |
| 差引                                | △ 159,476 | △ 65,128  | △ 30,902  | △ 26,663  | △ 18,397  |
| 調整勘定等                             | △ 14,270  | 25,531    |           | △ 2,102   | 2,102     |
| 施設整備等活動資金収支差額                     | △ 173,746 | △ 39,597  | △ 30,902  | △ 28,765  | △ 16,295  |
| 小計 (教育活動資金収支差額+<br>施設整備等活動資金収支差額) | 103,023   | 275,555   | 345,745   | 403,563   | 373,298   |
| その他の活動による資金収支                     |           |           |           |           |           |
| その他の活動資金収入計                       | 1,260,940 | 1,212,274 | 1,349,143 | 1,359,495 | 1,383,898 |
| その他の活動資金支出計                       | 1,204,302 | 1,154,220 | 1,290,534 | 1,295,604 | 1,326,670 |
| 差引                                | 56,638    | 58,054    | 58,609    | 63,891    | 57,228    |
| 調整勘定等                             | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| その他の活動資金収支差額                      | 56,638    | 58,054    | 58,609    | 63,891    | 57,228    |
| 支払資金の増減額 (小計+<br>その他の活動資金収支差額)    | 159,661   | 333,609   | 404,354   | 467,454   | 430,526   |
| 前年度繰越支払資金                         | 3,179,351 | 3,339,012 | 3,672,621 | 4,076,975 | 4,544,429 |
| 翌年度繰越支払資金                         | 3,339,012 | 3,672,621 | 4,076,975 | 4,544,429 | 4,974,955 |

② 収支計算書

ウ) 事業活動収支計算書

(単位 千円)

|               |           | 科目          | 平成30年度    | 令和元年度     | 令和2年度     | 令和3年度     | 令和4年度     |
|---------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 教育活動収支        | 収入        | 学生生徒等納付金    | 1,240,169 | 1,252,609 | 1,364,199 | 1,492,213 | 1,575,359 |
|               |           | 手数料         | 28,303    | 29,251    | 27,574    | 28,027    | 29,687    |
|               |           | 寄付金         | 481       | 228       | 138       | 379       | 6,846     |
|               |           | 経常費等補助金     | 318,939   | 280,739   | 243,559   | 272,936   | 280,427   |
|               |           | 付随事業収入      | 21,789    | 19,414    | 26,462    | 25,182    | 6,319     |
|               |           | 雑収入         | 29,868    | 19,436    | 21,636    | 27,272    | 25,785    |
|               |           | 教育活動収入 計    | 1,639,549 | 1,601,677 | 1,683,568 | 1,846,009 | 1,924,423 |
|               |           | 支出          | 人件費       | 787,343   | 784,211   | 837,124   | 884,361   |
|               | 教育研究経費    | 446,505     | 395,959   | 412,988   | 438,006   | 482,016   |           |
|               | 管理経費      | 186,025     | 181,742   | 171,802   | 178,693   | 195,273   |           |
| 徴収不能額等        | 2737      | 0           | 0         | 61        | 0         |           |           |
| 教育活動支出 計      | 1,422,610 | 1,361,912   | 1,421,914 | 1,501,121 | 1,618,828 |           |           |
| 教育活動収支差額      |           |             | 216,939   | 239,765   | 261,654   | 344,888   | 305,595   |
| 教育活動外収支       | 収入        | 受取利息・配当金    | 2,853     | 2,765     | 2,187     | 1,985     | 1,748     |
|               |           | その他の教育活動外収入 | 27,134    | 22,966    | 23,007    | 25,214    | 28,760    |
|               |           | 教育活動外収入 計   | 29,987    | 25,731    | 25,194    | 27,199    | 30,508    |
|               | 支出        | 借入金等利息      | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|               |           | その他の教育活動外支出 | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|               |           | 教育活動外支出 計   | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 教育活動外収支差額     |           |             | 29,987    | 25,731    | 25,194    | 27,199    | 30,508    |
| 経常収支差額        |           |             | 246,926   | 265,496   | 286,848   | 372,087   | 336,103   |
| 特別収支          | 収入        | 資産売却差額      | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|               |           | その他の特別収入    | 25,833    | 0         | 661       | 7,723     | 21,165    |
|               |           | 特別収入 計      | 25,833    | 0         | 661       | 7,723     | 21,165    |
|               | 支出        | 資産処分差額      | 17,951    | 37        | 39,202    | 0         | 0         |
|               |           | その他の特別支出    | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|               |           | 特別支出 計      | 17,951    | 37        | 39,202    | 0         | 0         |
| 特別収支差額        |           |             | 7,882     | △ 37      | △ 38,541  | 7,723     | 21,165    |
| 基本金組入前当年度収支差額 |           |             | 254,808   | 265,459   | 248,307   | 379,810   | 357,268   |
| 基本金組入額合計      |           |             | △ 188,955 | △ 38,546  | △ 31,288  | △ 29,693  | △ 39,562  |
| 当年度収支差額       |           |             | 65,853    | 226,913   | 217,019   | 350,117   | 317,706   |
| 前年度繰越収支差額     |           |             | 2,069,510 | 2,138,950 | 2,367,549 | 2,585,162 | 2,935,429 |
| 基本金取崩額        |           |             | 3,587     | 1,686     | 594       | 150       | 0         |
| 翌年度繰越収支差額     |           |             | 2,138,950 | 2,367,549 | 2,585,162 | 2,935,429 | 3,253,135 |

(参考)

|          |           |           |           |           |           |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 事業活動収入 計 | 1,695,369 | 1,627,408 | 1,709,423 | 1,880,931 | 1,976,096 |
| 事業活動支出 計 | 1,440,561 | 1,361,949 | 1,461,116 | 1,501,121 | 1,618,828 |

(3) 主な財務比率比較

(単位 %)

| 比率名        | 算式  | 平成30年  | 令和元年   | 令和2年   | 令和3年   | 令和4年   |
|------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人件費比率      | $\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$                    | 47.1   | 48.1   | 48.9   | 47.2   | 48.2   |
| 教育研究経費比率   | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$                 | 26.7   | 24.3   | 24.2   | 23.4   | 24.7   |
| 管理経費比率     | $\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$                   | 11.1   | 11.1   | 10.1   | 9.5    | 10.0   |
| 学生生徒等納付金比率 | $\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$                | 74.2   | 76.9   | 79.8   | 79.7   | 80.6   |
| 事業活動収支差額比率 | $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$        | 15.0   | 16.3   | 14.5   | 20.2   | 18.1   |
| 基本金組入後収支比率 | $\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$ | 95.6   | 85.7   | 87.1   | 81.1   | 83.6   |
| 経常収支差額比率   | $\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$                 | 14.7   | 16.3   | 16.8   | 19.9   | 17.2   |
| 教育活動収支差額比率 | $\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$            | 13.2   | 14.9   | 15.5   | 18.7   | 15.9   |
| 純資産構成比率    | $\frac{\text{純資産}}{\text{負債}+\text{純資産}}$           | 97.2   | 97.3   | 97.4   | 97.1   | 97.3   |
| 流動比率       | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$                   | 1611.4 | 1778.2 | 1956.5 | 1864.9 | 2062.6 |
| 負債比率       | $\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$                     | 2.8    | 2.7    | 2.6    | 2.9    | 2.8    |
| 基本金比率      | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$                 | 100.0  | 100.0  | 100.0  | 100.0  | 100.0  |

(4) その他

①有価証券の状況

| 区分 | 銘柄        | 数量    | 帳簿価額        | 時価           | 表示科目 |
|----|-----------|-------|-------------|--------------|------|
| 株式 | (株)神戸製鋼所  | 500   | 277,043 円   | 526,500 円    | 有価証券 |
| 株式 | 南海電気鉄道(株) | 6,200 | 4,850,460 円 | 18,135,000 円 | 有価証券 |
| 計  |           | 6,700 | 5,127,503 円 | 18,661,500 円 |      |

②寄付金の状況

| 寄付金の種類 | 寄付者              | 金額          | 摘要                |
|--------|------------------|-------------|-------------------|
| 特別寄付金  | 株式会社イノーヴィンタラクティブ | 6,500,000 円 | 八洲学園大学国際高等学校      |
| 特別寄付金  | 卒業生              | 5,000,000 円 | 福岡女子商業高等学校        |
| 一般寄付金  | 卒業生・保護者 他        | 346,159 円   | 八洲学園大学 福岡女子商業高等学校 |
| 現物寄付   | 卒業生              | 1,034,000 円 | 福岡女子商業高等学校        |

### ③収益事業の状況

駐車場業及び不動産賃貸業を行っており、その状況は次のとおりである。

(単位 千円)

|          | 平成30年度  | 令和元年度   | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度   |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 流動資産     | 8,083   | 8,158   | 8,244   | 7,963   | 9,145   |
| 固定資産     | 188,987 | 184,118 | 179,317 | 174,574 | 183,913 |
| 資産合計     | 197,070 | 192,276 | 187,561 | 182,537 | 193,058 |
| 流動負債     | 8,155   | 7,119   | 6,532   | 6,494   | 8,594   |
| 固定負債     | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |
| 負債合計     | 8,155   | 7,119   | 6,532   | 6,494   | 8,594   |
| 純資産合計    | 188,915 | 185,157 | 181,029 | 176,043 | 184,464 |
| 負債・純資産合計 | 197,070 | 192,276 | 187,561 | 182,537 | 193,058 |
|          | 平成30年度  | 令和元年度   | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度   |
| 売上高      | 45,790  | 47,379  | 51,520  | 47,879  | 54,893  |
| 販売管理費    | 50,519  | 51,737  | 53,595  | 50,494  | 57,924  |
| 営業外損益    | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |
| 当期純損益    | △4,729  | △4,358  | △2,075  | △2,615  | △3,031  |

### ④関連当事者等の取引の状況

ア) 関連当事者 イ参照

イ) 出資会社(学園が2分の1以上の出資をしている会社)

| 会社等の名称            | 事業内容       | 資本金等  | 出資割合  | 取引の内容                                  | 人事上の関係         |
|-------------------|------------|-------|-------|--|----------------|
| 株式会社ドードス          | 学習塾        | 10百万円 | 100%  | —                                      | 役員1名<br>取締役を兼務 |
| 株式会社SOBAエデュケーション  | 情報サービス     | 60百万円 | 50%   | 支払額 3173万円                             | 役員1名<br>取締役を兼務 |
| 学校運営機構株式会社        | 経営コンサルティング | 31百万円 | 96.7% | 受入額 277万円<br>支払額 2838万円<br>貸付金 13200万円 | 役員1名<br>取締役を兼務 |
| 株式会社イノーヴァインタラクティブ | 情報サービス     | 30百万円 | 100%  | 受入額 770万円<br>支払額 2024万円                | 役員1名<br>取締役を兼務 |

以上